

平成22年度

学校関係者評価表

宮崎県立富島高等学校（全日制）

平成22年度 宮崎県立富島高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

<p>【教育目標】 宮崎県教育基本方針および宮崎県人権教育方針に基づき、己の個性を伸ばす自立の心を育て、信頼と協調により友愛を深め、心豊かな生活をめざして創造力を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。</p>	<p>【学校関係者評価のポイント】</p>			
<p>【経営方針】 富高3Sである「専門性を高めるための基礎学力を身に付ける」「思慮分別のある行動を身に付ける」「何事にもチャレンジし、輝く自分を見つける」を実践・具現化するために、生徒の進路目標の達成を目指し、全教職員が保護者と連携して地域に感動を与え、生徒や保護者が自信と誇りを持てる学校づくりを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 			
<p>【本年度の重点目標】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> <p>1 学校は人が育つ場であり、生徒も教師も力がつく教育活動を充実させる。</p> <p>(1) 基礎学力を定着させ、専門性の深化を図るとともに、高度の資格取得や各種検定の合格を目指す。</p> <p>(2) 将来の職業人・社会人としてのマナーや思慮分別ある言動を身に付けさせ、指導を充実させる。</p> <p>(3) 校内研修・公開授業の充実、校外研修への積極的な参加、先進校視察の推進を通して授業力向上を目指す。</p> </td> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> <p>2 生徒一人一人を大切にした教育を実践する。</p> <p>(1) 高い進路意識の醸成・キャリア教育の充実を図り、生徒や保護者とのきめ細かな進路相談、進学先・就職先への訪問及び新規求人開拓などにより、進路目標を達成させる。</p> <p>(2) 学校行事や部活動など、生徒が自主的・主体的に活動する場を充実させて、自立心を育成する。</p> <p>(3) 生徒同士、生徒と教師、教師同士の心が通じ合う人間関係を築きながら、教育相談体制を充実させるとともに、関係機関と連携して特別支援教育体制の充実を図る。</p> </td> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> <p>3 保護者や地域から信頼され、支持される学校づくりに努める。</p> <p>(1) 学校便りやホームページの充実など、学校からの情報発信によって地域や保護者さらには中学校の本校への理解を促進する。</p> <p>(2) 地域の方や保護者から生徒が直接学ぶ場を積極的に設けることで、交流を図るとともに、教育内容を充実させる。</p> <p>(3) 商工会議所や日向市観光振興課等との連携により、地域の活性化事業へ参画する。</p> </td> </tr> </table>	<p>1 学校は人が育つ場であり、生徒も教師も力がつく教育活動を充実させる。</p> <p>(1) 基礎学力を定着させ、専門性の深化を図るとともに、高度の資格取得や各種検定の合格を目指す。</p> <p>(2) 将来の職業人・社会人としてのマナーや思慮分別ある言動を身に付けさせ、指導を充実させる。</p> <p>(3) 校内研修・公開授業の充実、校外研修への積極的な参加、先進校視察の推進を通して授業力向上を目指す。</p>	<p>2 生徒一人一人を大切にした教育を実践する。</p> <p>(1) 高い進路意識の醸成・キャリア教育の充実を図り、生徒や保護者とのきめ細かな進路相談、進学先・就職先への訪問及び新規求人開拓などにより、進路目標を達成させる。</p> <p>(2) 学校行事や部活動など、生徒が自主的・主体的に活動する場を充実させて、自立心を育成する。</p> <p>(3) 生徒同士、生徒と教師、教師同士の心が通じ合う人間関係を築きながら、教育相談体制を充実させるとともに、関係機関と連携して特別支援教育体制の充実を図る。</p>	<p>3 保護者や地域から信頼され、支持される学校づくりに努める。</p> <p>(1) 学校便りやホームページの充実など、学校からの情報発信によって地域や保護者さらには中学校の本校への理解を促進する。</p> <p>(2) 地域の方や保護者から生徒が直接学ぶ場を積極的に設けることで、交流を図るとともに、教育内容を充実させる。</p> <p>(3) 商工会議所や日向市観光振興課等との連携により、地域の活性化事業へ参画する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の結果は、指標等をもとにした妥当なものであるか。 自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。
<p>1 学校は人が育つ場であり、生徒も教師も力がつく教育活動を充実させる。</p> <p>(1) 基礎学力を定着させ、専門性の深化を図るとともに、高度の資格取得や各種検定の合格を目指す。</p> <p>(2) 将来の職業人・社会人としてのマナーや思慮分別ある言動を身に付けさせ、指導を充実させる。</p> <p>(3) 校内研修・公開授業の充実、校外研修への積極的な参加、先進校視察の推進を通して授業力向上を目指す。</p>	<p>2 生徒一人一人を大切にした教育を実践する。</p> <p>(1) 高い進路意識の醸成・キャリア教育の充実を図り、生徒や保護者とのきめ細かな進路相談、進学先・就職先への訪問及び新規求人開拓などにより、進路目標を達成させる。</p> <p>(2) 学校行事や部活動など、生徒が自主的・主体的に活動する場を充実させて、自立心を育成する。</p> <p>(3) 生徒同士、生徒と教師、教師同士の心が通じ合う人間関係を築きながら、教育相談体制を充実させるとともに、関係機関と連携して特別支援教育体制の充実を図る。</p>	<p>3 保護者や地域から信頼され、支持される学校づくりに努める。</p> <p>(1) 学校便りやホームページの充実など、学校からの情報発信によって地域や保護者さらには中学校の本校への理解を促進する。</p> <p>(2) 地域の方や保護者から生徒が直接学ぶ場を積極的に設けることで、交流を図るとともに、教育内容を充実させる。</p> <p>(3) 商工会議所や日向市観光振興課等との連携により、地域の活性化事業へ参画する。</p>		

評 価 基 準	4：十分達成できている。 3：どちらかと言えば、達成できている。 2：どちらかと言えば、不十分である。 1：不十分である。
---------	--

評価区分	評価項目	具体的方策	成果・課題・改善策等	自己評価		学校関係者評価	学校関係者評価コメント
				個別	総合		
教育課程の編成	① 教科の学習指導要領の基本方針や趣旨が、教育課程の編成や実施に生かされている。	1 研修会や教育課程検討委員会において、新学習指導要領の基本方針や趣旨を確認し、各教科において教科会を実施し適切な教育課程の編成となるようにしている。 2 平成24年度から先行実施される理科・数学についての検討をしている。	1 新学習指導要領の改訂の要点を教科主任に配付し、基本方針・主旨等の周知徹底を図った。 2 仮の平成24年度教育課程表を作成することが出来た。	3	3	3	<p>学習指導要領が新しく改訂されるため、基本方針やその趣旨を十分に理解し、先生方の指導助言に、応えられる生徒・保護者でありたい。「生きる力」を、専門高校で確実に習得できるよう努力していきたい。</p> <p>先々を見越した指標が設定され、十分な成果が得られている。</p> <p>生徒と教師が一体となって、何事にも真剣に取り組んでいる。</p>
	② 教育課程は、基礎的・基本的な内容を重視し、生徒の個性を生かす教育の充実が図られた編成になっている。	1 各教科において教科会を実施し基礎的・基本的内容を重視し、生徒の個性を生かす教育の充実が図れるように選択科目・類型制などの充実を図っている。	1 学科主任会で平成25年度教育課程表について、生徒の進路実現を図れるように選択科目の検討をした。 2 生活情報科の3類型「被服」「フード」「保育」では、文化祭で学科発表を行うなど、生徒の個性を生かす教育の充実が図れた。	3			
	③ 教育課程の改善について、部会・教科会・学年会などの協議の場が設定され、連携が図られている。	1 教育課程の改善については部会・学年会・教科会からの意見を集約できるように、教育課程検討委員会を毎週1回実施している。 2 平成25年度から完全実施される新学習指導要領についての検討を、教科会で行っている。	1 教育課程検討委員会を毎週1回実施することにより、各教科・学科の取り組んでいる内容や特色等を知ることができ、意思疎通を図ることができた。 2 教育課程のみならず、教室の床工事における移動についても授業に支障を来すことなく円滑に進めることが出来た。	3			

平成22年度 宮崎県立富島高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

評価基準		4：十分達成できている。 3：どちらかと言えば、達成できている。 2：どちらかと言えば、不十分である。 1：不十分である。					
評価区分	評価項目	具体的方策	成果・課題・改善策等	自己評価		学校関係者評価	学校関係者評価コメント
				個別	総合		
学習指導・授業の工夫・改善・学力向上	① 年間指導計画やシラバスが作成され、計画的に適切な授業が行われている。	1 保護者に対しては、PTA総会において、各学年のシラバスを配付し成績の評価の仕方等について説明をしている。生徒に対しては、授業中に各教科担任から直接シラバスを用いて、年間指導計画・評価等の説明をし、適切な授業が実施されるようにしている。	1 年間指導計画や評価基準等を明確にしたことにより、より適切な授業を実施することができた。 2 今後の課題・改善策としては、今年の年間指導計画をふり返って、来年度に向けた年間計画や評価基準の在り方を教科会で検討することである。	3	3	4	シラバスの活用は、生徒・保護者に、明確に示されており、今年度も高い成果を上げている。公開授業、基礎学力定着の為のテスト、ノーチャイムデー等は、次年度も更なる工夫を加えて取り組んで頂きたい。 3学年会と同時の参観日は、保護者にとってまたとない機会となり、子供の様子が分かり、良い刺激となった。 各種の資格取得状況が分かり、生徒達の成長を感じ取ることができた。この取り組みを更に深化させ、生徒達が自主的な取り組みへと発展して欲しい。
	② 校内研修や公開授業の充実、校外研修への参加等を通して、職員の授業力向上が図られている。	1 年に2回、公開授業を2週間（1回あたり）程度設け、各教科の授業を自由に参観できる機会を設けている。また、この期間中に保護者向けの参観日を2回設けた。（1回目は口蹄疫拡大防止対策のため、中止となる。）	1 公開授業を実施することにより、他教科の指導方法等で参考になる点を取り入れることができた。 2 保護者向けの2学期の参観日では、3学年PTAと同時にいったため、参観者も多かった。	3			
	③ 基礎学力を定着させるとともに、専門性の深化を図り、その成果が認められている。	1 基礎学力定着のために国語科による文字力テスト（年10回）英語科による英単語テスト（年8回）を朝のHRが始まる前に実施している。 2 専門性の深化と高度資格取得のために年間計画に基づいた課外や教科の個別指導等を実施している。	1 文字力テスト（年10回）・英単語テスト（年8回）を計画的に行うことにより、常識的な漢字の読み書き、英単語等の綴り等を身につけることができ、就職試験等に役立った。 2 課外や個別指導等を実施することにより3種目1級取得者も前年度を上回っている。 3 全商英語スピーチコンテストでは最優秀・優秀賞に輝いた。	3			
	④ チャイムで生徒が着席し、授業開始・終了時の起立・礼等の基本的な学習習慣が確立されている。	1 年度初めにおいてベル着・礼法指導の徹底を全職員で共通理解を図っている。 2 生徒が、時間に対しての自己管理意識を持つようにノーチャイムデーを毎月1回設けている。また、ノーチャイムデーと通常の日々の着席率の比較を行い、効果の検証をしている。	1 ノーチャイムデー実施後の着席率が実施前と比べると良くなっていることがわかった。また、ノーチャイムデーの着席状況も11月は4.3%と良くなっている。 2 集会での礼の仕方など、統一がとれるようになっている。	3			

平成22年度 宮崎県立富島高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

評価基準		4：十分達成できている。 3：どちらかと言えば、達成できている。 2：どちらかと言えば、不十分である。 1：不十分である。					
評価区分	評価項目	具体的方策	成果・課題・改善策等	自己評価		学校関係者評価	学校関係者評価コメント
				個別	総合		
生徒指導・基本的生活習慣の確立	① 生徒が自主的・主体的に活動していく場の充実が図られ、生徒の自立心が育っている。	1 部活動活性化のためのキャプテン集会の実施 2 学校行事の企画・運営（クラスマッチ、生徒総会生徒会役員選挙、文化祭） 3 生徒会役員による先進校視察の実施 4 各種専門委員会の実施	1 各学期1回実施して、意識の高揚を図ることができた。 2 生徒会を中心に多くの行事で主体的な活動ができた。 3 今年度は県外の先進校視察を実施できた。 4 ポスター作成等行う委員会があった。	3	3	3	<p>体育大会を含めて、学校を訪問したが、どの生徒も進んで明るい挨拶をしてくれ、今の富島高校の躍進ぶりを象徴しているように思う。</p> <p>部活動が盛んで、生徒達の目標も高い。加えて、生徒会を中心として生徒の力を感じる行事（正門前で、朝の挨拶運動）があり、学校への印象を高めている。</p> <p>生徒からの問い掛けやSOSを見逃さない姿勢が見られ、職員一人一人のモチベーションを高める取り組みが、見られた。</p>
	② 将来の職業人・社会人としてのマナーや、思慮分別のある言動を身に付けさせる指導ができています。	1 部活動生や生徒会役員による朝のあいさつ運動や奉仕活動の実施 2 外部講師を招聘した交通マナーおよび薬物乱用防止教室の実施 3 自転車点検指導の実施 4 生徒指導便りを通して規範意識の高揚を図る（毎月1回）	1 多くの部活動生をはじめ生徒会役員も朝の挨拶や奉仕活動に積極的に参加した。 2 各学期必要な時期に必要な教室を実施することができた。 3 各学期1回程度定期的な点検を実施したい。 4 毎月発行して各先生方の思いを伝えることができた。	3			
	③ 生徒指導上の諸問題に適切に対応し、迅速な指導ができています。	1 管理職や教育相談部との連携 2 各学年主任との情報交換 3 該当する担任との連携および該当生徒への家庭訪問の実施 4 問題行動再発防止のための全校集会や学年集会の実施	1 ほとんどのケースで連携が図れた。 2 生徒指導委員会で情報交換ができた。 3 十分な連携を図ることができ必要な時に家庭訪問等行うことができた。 4 問題行動が発生するたびに集会を開き、再発防止の取り組むことができた。	3			
	④ 問題行動の早期発見とその指導が、全職員の協力のもと行われている。	1 全職員による定期テスト時や放課後の校外巡回指導の実施 2 昼食休憩時間の校内巡回指導の実施 3 日向地区高等学校PTA校外指導連絡協議会の開催（年2回） 4 特別指導時の反省日誌点検と指導	1 すべてのテスト時に巡回指導を行うことができた。 2 学年団と連携して実施することができた。 3 口蹄疫の関係で実施時期が変更になったが、実施することができた。 4 反省日誌点検は抜本的な変更が必要である。	2			
進路指導・生徒の進路実現支援	① 学年に応じた計画的な進路指導が行われ、生徒の進路意識が高められている。	1 学年別進路ガイダンスの実施。 2 LHR・集会等における進路対策専門員の進路講話。	1 口蹄疫の関係で時期が遅れることがあったが実施できた。 2 厳しい就職状況を踏まえ、早い時期からの取り組みが必要。	3	3	3	<p>生徒の進路指導を第一義に考えて、地元企業との意見交換会にも、積極的な参加が見られた。</p> <p>基礎学力の養成が急務であるが、併せて、コミュニケーション能力、敬語の使い方、マナー等についての知識と行動力を身に付けていく訓練も必要である。</p> <p>生徒達の進路実現に向けての取り組みが、ほぼ整備できている。就職については、5年連続して100%を達成できた。国立大への進学には、逆風が吹いているが、今年度は公立大において、善戦健闘が見られた。</p>
	② 生徒の自己実現を図る指導や進路相談が、組織的・計画的に行われ、キャリア教育が充実している。	1 3年の総学で、各自の進路別（就職・進学）にそれぞれ分かれて、コース別に調べ学習・面接・論文指導を行う。 2 3者面談・2者面談等、3年学級担任や進路対策専門員と協力して行う。	1 各自計画的に学習できたようである。特に、面接・小論文指導については多くの職員の協力を得ることが出来た。 2 きめの細かい進路指導につながった。	3			
	③ 生徒の基礎学力の定着と学力向上のための手立てがとられている。	1 毎日の朝読書、自宅学習の指導、毎月の文字力テスト・英単語テストの実施。 2 業者による基礎力診断テストの実施と分析。 3 4年制大学希望者に対する論文指導。	1 基礎学力の向上は今後の課題でもある。 2 データを進路指導に利用してもらっている。 3 各自の努力もあるが、早い時期からの対策が必要	3			
	④ 進路に関する適切な情報や資料を提供するとともに、新規開拓など進路実現に向けた支援が行われている。	1 「進路だより」の発行。 2 進路資料のクラス配付。 3 ガイダンス等の参加呼びかけ。	1 進路状況等の報告が出来た。 2 学年によって取り組みに差がある。特に、1年生の取り組み状況を改善したい。 3 出来るだけ参加できるガイダンス等については紹介することが出来た。	3			

平成22年度 宮崎県立富島高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

評価基準		4：十分達成できている。 3：どちらかと言えば、達成できている。 2：どちらかと言えば、不十分である。 1：不十分である。					
評価区分	評価項目	具体的方策	成果・課題・改善策等	自己評価		学校関係者評価	学校関係者評価コメント
				個別	総合		
学校保健・学校安全	① 年間計画に基づいて健康診断等が行われ、生徒・職員の健康管理と疾病予防が適切に行われている。	1 学校保健安全計画に基づいた生徒・職員の健康診断を実施する。 2 職員対象の研修会、生徒対象の健康講話等を実施し、疾病予防の意識の喚起に努める。	1 健康診断については、予定通り実施することができた。再検査が必要な生徒には、精密検査及び治療を促した。 2 疾病予防についての講話や研修会等を実施し、健康への意識の高揚に繋がった。	3	3	3	<p>防災・防火等の緊急避難訓練や危機管理等の共通認識そして行動を通しての在り方を、今一度確認し、検証しておく必要がある。</p> <p>生徒の健やかな成長発達と疾病予防に、努めていることは、評価できる。</p>
	② 防災・防火等に対して組織的・計画的な方策や訓練が実施されている。	1 防災・防火時の避難経路及び役割分担の確認を促す。	1 防災・防火時の緊急避難訓練を実施し、震災や火災時における冷静な行動、判断、命の尊さについて、意識を高めることができた。	3	3		
環境美化	① 清掃活動に積極的に取り組み、学習環境づくりへの姿勢が窺える。	1 清掃区域の見直し、監督者の配置の改善を行う。 2 ロッカーや机上等定期的な整理整頓活動を実施する。	1 清掃箇所の整理・統合を行ったが、十分に機能していない。強化週間等設けたりするなどの工夫を行いたい。 2 定期的な整理整頓活動を実施できなかった。日常的に整理整頓を習慣化させる手立てを講じていきたい。	2	3	3	<p>生徒と教師がともに、環境整備や学校への愛着を持って、美化活動に取り組んでいる。</p> <p>季節の花を考えての植栽が行われ、生徒達の明るい挨拶が印象的である。以前の富島高校への評価と印象は、格段に変わってきている。保護者や教師の熱意と努力が、十分に窺える。</p>
	② 生徒・教師ともに美化意識の高揚について、組織的な取り組みが見られる。	1 花が多く、美しい花壇の維持管理の一貫として学級花壇コンクールを実施する。 2 校内・校外のクリーン活動を実施する。 3 定期的な除草・植栽に努める。	1 学級花壇コンクールを通じて生徒・職員一体となって花壇の維持管理に取り組むことができた。 2 校外のクリーン活動では、お互いに協力しながら、学校や地域の美化に取り組むことができた。 3 環境整備部以外の職員の協力もあり、できる範囲で除草・植栽に努めた。	3	3		
PTA活動の活性化と家庭との連携	① PTA役員会や各専門委員会が計画的に行われ、PTA活動の活性化に繋がっている。	1 PTA総会で事業計画を提示。 2 PTA新聞発行の計画的な作成。 3 PTA役員と教職員との合同懇親会や夜間見回り等を計画。	1 口蹄疫拡大防止の為に、事業計画が中止や延期となったが全面解除を受けて順調に計画が進んだ。 2 広報部会は計画通りに進め、PTA新聞の発行ができた。 3 夜間の見回り等も多くの保護者が参加した	4	4	4	<p>家庭と学校との連携協力が、以前と比べて一段と向上してきている。今後も、相互の協力体制を強化していく取り組みが求められる。</p> <p>PTA活動が盛んで、総会や参観への出席率が伸びてきている。生徒の取り組みに、保護者の関心が高く、学校行事への参画・協力が得られやすい。</p> <p>保護者との連絡手段に、マ・メールの導入が期待できる。</p>
	② PTA組織が機能し、学校と家庭（保護者）との連携が図られている。	1 PTA役員選考委員会を明確に提示。 2 各部長との連絡をメールで実施。 3 保護者とのメールでの行事連絡のためにマ・メールの導入を検討。（保護者の携帯電話に連絡ができる方法）	1 PTA役員選考委員会を立ち上げ、選考委員長も決定した。来年度に向けての取組ができていく。 2 各PTA役員との連絡には、ほとんどメールを使い、連絡・報告が円滑にできている。 3 マ・メールの導入の準備が進んでいる。	4	4		
図書活動・読書指導	① 校内での読書活動が推進され、「開かれた図書館づくり」が行われている。	1 朝読書の充実、新着図書紹介、図書館利用の促進等を通して読書活動を推進する。 2 図書委員会の活性化を図り、クラス貸出目標月30冊の達成を促す。 3 毎月の図書便り、HPの更新、行事の案内文書等を通して保護者にも利用を呼びかける	1 図書館の特設コーナー、号外の図書便り等を工夫して、生徒達の要望に応えることができた。 2 クラス貸出目標月30冊に近づかないクラスが固定化する傾向があり、改善策を模索している。 3 HPの更新に努めたり、図書便りを工夫したりして、保護者への広報活動としている。	3	3	4	<p>図書館の雰囲気づくりができている。また、読書の楽しさや習慣づけのための取り組みが見られる。</p> <p>活字離れが危惧されるなか「10分間読書」が、十数年継続されていることは素晴らしい。</p> <p>名作に触れる手立てとして「朗読放送」を、以前から導入し、効果を上げている。</p>
	② 朝の10分間読書は、全職員指導のもと組織的に行われている。	1 全職員が「10分間読書」の意義を理解し、教師自身が読むことで手本を示す。 2 朝読書の更なる充実を目指し、放送部と連携して啓発活動を推進する。 3 学級図書の利用、学期1回の朗読放送等を通して、朝読書への意欲を喚起する。	1 朝の「10分間読書」は、開始から十数年経ち全職員・生徒に定着していて取組は大変良い。 2 放送部による朝読書への呼びかけ、新着図書紹介等を通して、今後も充実を図っていきたい。 3 本年度から、プロによる文学作品の朗読を選んで放送し、多様な読書への喚起を促している。	3	3		

平成22年度 宮崎県立富島高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

評価基準	4：十分達成できている。 3：どちらかと言えば、達成できている。 2：どちらかと言えば、不十分である。 1：不十分である。
------	---

評価区分	評価項目	具体的方策	成果・課題・改善策等	自己評価		学校関係者評価	学校関係者評価コメント
				個別	総合		
人権教育・教育相談	① 人権学習は、年間計画に基づいて適切な指導が展開されている。	1 毎学期、各学年に応じた計画的・継続的な人権学習を行う。 2 人権ポスター・標語を校内各所に掲示し、普段からの広報活動に努める。 3 日向市主催の人権講演会に参加し、市民と一体となって「人権」について考える。	1 グループエンカウンターは全学年で実施した。人間関係を結ぶ力を育成できるようなプログラムを来年度に向けて考えたい。また、人権教育1、2年生は「インターネットと人権」について学習し、情報モラルと人権を関連づけて学習した。 2 生徒が作成した人権に関する標語を校内各所に掲示し、広報を図った。また、人権学習後の生徒の感想は「相談日より」で紹介した。 3 3年生は「日向市人権・同和問題市民講演会」に参加し、自分の課題として捉えることで、人権意識を高めることができた。	3	3	3	日向市の「人権・同和問題市民講演会」に参加したことは、今後の人間形成に大いに役立つものと期待する。 人として、他人を思いやる心、人と人とのネットワークの形成や人権・同和教育が、学年の発達過程に応じてプログラム化してあることは、十分評価できる。 人権教育推進教員や中途退学対応教員が、整備されていることは、保護者や生徒にはとても有益なことであり、その役割は非常に大きい。
	② いじめや不登校などの学校不適応について、予防から解決に至るまで適切な指導が行われ、充実している。	1 中途退学対応教員を中心に、日常的な相談活動を行う。 2 毎学期、相談週間、実態調査を行い、生徒の実態把握に努める。 3 グループエンカウンター、人権教育を通して望ましい人間関係作りと自己実現を図る。 4 外部機関と連携し、適切な対応に務める。 5 特別支援教育コーディネーターを中心に校内の支援体制づくりを進める。	1 自ら入室した生徒への対応はよくできたが、学年会で話題になった気になる生徒や特別指導を受けた生徒への面談はできなかった。 2 生徒の実態把握後の対応は、まだ不十分だった。 3 学習と行動を結びつけるためのきめ細かな指導が、まだ不十分である。 4 研修センターに講師を依頼し、特別支援のあり方についての職員研修を行った。 5 支援体制をもとに気になる生徒の対応を進めている。	3	3		
事務	① 公費・私費の効率的な予算執行及び施設・設備の管理や整備が適切に行われている。	1 教育課程や行事等を考慮した計画的な予算執行を行う。 2 定期的な校内巡視で、不備箇所の早期発見に努める。 3 迅速で適正な修繕・工事を行う。	1 購入要求書の提出により消耗品等購入の把握ができ、効率的な計画的な予算執行が行えた。 2 校内巡視で、施設・設備等の不備な箇所の発見に努め、改修等実施した。 3 迅速で適正な修繕を行うため、他部門の職員との連携を図りながら安全点検等を行い、不備な箇所の早期発見に努めたい。	3	3	3	限られた予算を効率よく執行されていることは、十分に評価できる。 全国的に、私費未納問題がクローズアップされているが、富島高校においても十分な対応をお願いしたい。
	② 私費の滞納解消に向けて適切な取り組みが行われている。	1 毎月、未納者への督促文書を配付する。 2 担任との連携で、担任が保護者に連絡する。 3 未納者へ奨学金等の申請を勧める。	1 保護者への督促文書が保護者へ届いていないことが多い。 2 担任から保護者への連絡は協力していただいた。 3 奨学金の勧めで助かった生徒がいた。また、保護者への督促文書の郵送等が検討課題。	3	3		
地域との連携	① 学校からの情報発信は、地域や保護者さらには、中学生の本校に対する興味関心を高めている。	1 HPの更新や学校新聞である「富風」を効果的に使い、情報を発信していく。 2 校務分掌・学科・学年の連携を図り、最新のニュースソースを収集していく。	1 各種行事・部活動の大会や教科としての取り組み等を学期を通じて、広報し、市教委や中学校へ配布している。 2 学校行事では、特集号を発行して「校内の取り組み」を広報している。しかし、HPの更新には、時宜を捉えた在り方が求められる。	3	3	4	学校生活や教育活動等を、HPや「富風」で、情報を発信していることは、有益である。 商業研究班（3年生 18名）が、「口蹄疫」の風評被害を受けた企業を支援するために「シール大作戦」を展開し、義援金活動や地元商工業への貢献度は極めて大きい。その企画力と行動力に敬意を表したい。 郷土の商品を考案したり、朝市への参加など積極的に行動していることは、高く評価できる。今後の協働を期待し、富高オリジナルカラーを更に発揮して欲しい。
	② 地域の方や保護者等から生徒が直接学ぶ場が積極的に設けられ、教育内容が充実している。	1 口蹄疫義援金を集めるために、シール企画を立て、量販店へ売り込む。 2 宮崎県の復興を目指して、新商品開発を企画し、地元企業と連携した商品開発を行う。 3 市内をはじめ県内各地の名物を調査し、宮崎県のPR活動を情報誌業界に行う。	1 「宮崎応援シール」を3種類作成し、約50社程の企業からの賛同を得ることができた。 2 地元菓子店に協力を得て、生徒が考案したスイーツ5種類を商品化し、販売を行った。 3 日向市、延岡市、宮崎市など県内各地の名物を調査し、情報提供用に資料を作成した。	4	4		
	③ 地域の活性化に貢献している。	1 商工会議所や市観光協会と連携を図りながら、月一度の駅市へ出店を行う。 2 情報誌業界やテレビ業界・新聞社等が企画するイベントに出店し、市や県のPR活動を行う。	1 口蹄疫による朝市自粛のため、出店回数に限られたが、4月、9月、10月、12月の4回出店を行い、開発した商品を販売した。 2 宮崎市で行われたチャリティー・フリーマーケットに参加し、PR活動を行った。宮日、毎日新聞、タウン宮崎等に活動が報じられた。	4	4		